

# 国語科学習指導案

単元名「自分の考えを広げたり深めたりできるように読み、ミニ論文にまとめよう」

教材名「夏の葬列」〔学指要領：知(1)エ・(2)イ、思C(1)オ〕

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇中学校 2年〇組 指導者 〇〇 〇〇

## I 単元の構想

### 1 単元の目標及び生徒の実態

|              | 目標  | 生徒の実態  |
|--------------|---|--|
| 知識及び技能       | <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)エ</li> <li>情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。(2)イ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>接続語や文末表現などに関わる語句について理解しているが、語彙に着目しその使い方を吟味することに課題がある生徒もいる。</li> <li>説明的な文章の読み取りでは、必要な情報を記述から抜き出し、自分の考えの根拠とすることができる生徒が多い。</li> </ul> |
| 思考力、判断力、表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>読む領域の学習では、文章の内容を理解し、自分の経験と結び付けて、考えをもつことはできるが、他者の意見を生かして、自分の考えを再構築することに課題がある。</li> </ul>   |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもち文章を読むとともに、これまでの学習を生かして、自分の考えを表現することができる生徒が多い。</li> </ul>   |

### 2 評価規準

|               |  |
|---------------|--|
| 知識・技能         | <ul style="list-style-type: none"> <li>①抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>②情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。</li> </ul> |
| 思考・判断・表現      | <ul style="list-style-type: none"> <li>①「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>            |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①進んで自分の考えを広げたり深めたりして、今までの学習を生かしてミニ論文に表そうとしている。</li> </ul>                           |

### 3 指導及び評価、ICT活用の計画(全6時間：本時第4時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

| 時 | 学習活動  | 知 | 思 | 態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の設定と話の大筋を理解し、単元の課題をつかむ。(い)</li> </ul> <p>単元の課題 叙述と経験を根拠にして「彼」に救いがあるかについて読み解き、ミニ論文にまとめよう。</p> |   |   | ① |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動について場面ごとの記述を比較し、「彼」の心情の変化を捉える。(あ)</li> </ul>  | ● | ① |   |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在と過去の場面を比較して場面構成の工夫を捉え、表現の効果を考える。(あ)</li> </ul>   | ● |   |   |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「彼」に救いがあるかについて、叙述と自分の経験を結び付けて話し合う。(あ)(い)</li> </ul>  |   | ● |   |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「彼」に救いがあるかについて、話し合ったことを基に自分の考えをミニ論文に表す。</li> </ul>   |   |   |   |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と互いのミニ論文を読み合うなどして、自分の考えが広がったり深まったりしたことに着目した単元の振り返りをする。(い)</li> </ul>                           |   |   | ● |

\*活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート (い) テキストマイニング

### 4 言語活動の価値

ミニ論文に表すという言語活動は、「夏の葬列」に登場する「彼」に救いがあるかを批評するものである。ミニ論文に表すために、生徒は自分の立場を明確にし、根拠となる叙述や自身の経験を結び付けて、自分の考えを端的に述べることとなる。この言語活動を行う中で、生徒は、「彼」の心情の変化を現在と過去を行き来する場面の展開に沿って読み取り、「彼」の言動と対応させながら内容を捉えた上で、叙述や経験を根拠として他の生徒と対話し、自分の立場を明確にしていく。このようにして、生徒は読み取ったことなどを根拠に自分の考えをもち、自分の考えを広げたり深めたりする力を高めることができる。と考える。

II 本時の学習（4／6）

1 ねらい 「彼」に救いがあるかについて、その根拠として読み取った叙述と自分の経験を結び付けて伝え合う活動を通して、自分の立場を決めるための根拠を明確にすることができるようにする。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

| 主な学習活動<br>予想される生徒の意識〔S〕   | 主な発問<br>○指導上の留意点<br>◆評価項目（観点）   |
|---|---|
| <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>〈めあて〉<br/>                     「彼」に救いがあるか、読み取った叙述と自分の経験を結び付けて、ミニ論文に表す立場を決めよう。</p> <p>S：最初は「救いがない話」だと感じていたけど、別の立場もあるのかもしれない。</p>  | <p>○本時のめあてをつかむことができるように、初発の感想（テキストマイニング）で多かった「救いがない」に触れ、初読からの自分の考えの変化を問いかける。 【★提示・配布】</p> <p>○立場を決めていく際に、叙述を根拠の一つとして考えられるように、前時までに学習した「場面の移り変わり」と「心情の変化」について振り返るように促す。</p>  |
| <p>2 叙述と自分の経験を根拠にして、現段階での自分の立場を決める。(15分) 【★思考の補助】</p> <p>「『彼』に救いはあるかについての立場を決めるときに、何を根拠としたらよいでしょうか。」</p> <p>S：「二つの死が自分の中で永遠に続くだろう」と書いてあるので、やはり救いはないのかもしれない。</p> <p>S：自分の不注意で友達に怪我をさせたとき、故意じゃなくても苦しかったな。</p> <p>S：立場を決めるときには叙述からだけではなく、自分の経験を関連させると説得力が増しそうだな。</p>   | <p>○立場を決めた意図を明確にできるように、叙述を基にした根拠（赤）と、自分の経験を基にした根拠（青）の付箋を並べ、タブレット上に配置するよう促す。</p> <p>○叙述を基にして根拠を明確にできるように、「記憶の追放」「封印」「未来の別の夏」など、過去と未来を示す表現にも着目するよう助言する。</p> <p>○自信をもち自分の立場や根拠を整理できるように、「彼」の心情について考える時に、根拠にする自分の経験は人によって多様なものとなることを助言する。</p>   |
| <p>3 立場を示すための根拠となる叙述や自分の経験を伝え合う。(20分) 【★共同編集】</p> <p>「自分の根拠をより明確にするために、友達の意見で参考となる根拠はありましたか。」</p> <p>S：Aさんの言うように、事実を知らなければ、「彼」はずっと逃げていたのかもしれないな。Aさんの経験に基づいた根拠も、説得力があるな。</p> <p>S：たしかに、最期の「逃げ場所はないのだ」「彼の足取りをひどく確実なものにしていた」の叙述からも、現実に立ち向かう意思が感じられるな。</p> <p>S：なるほど。「二つの死が永遠に続くしかないのだ」と事実を知ったことで、自分自身と向き合えた部分もあると考えられるのか。ぼくも事実を認めて謝ったときは、少し気持ちが楽になったな。</p> | <p>○「彼」の心情に迫るための叙述に基づいた根拠を共有できるように、どの語句に着目したのか問いかける。</p> <p>○自分の立場を決める際の根拠をより明確にできるように、他者の意見に対して、自分は経験していなくても共感できるものはないか着目するよう促す。</p> <p>○次時の学習のミニ論文作成の参考にできるように、友達の付箋で参考になった根拠や考えをコピーしておくよう助言する。</p> <p>◆評価項目（思①）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートの付箋の記述から、「叙述と自分の経験を結び付けたり、他者と共有したりした内容などから、自分の立場を決めるための根拠を明確にしているか」を評価する。</li> </ul> |
| <p>4 本時のめあてを確認し、ミニ論文に表す自分の立場を決めるとともに、学習のまとめ・振り返りをする。(10分)</p> <p>〈まとめ・振り返り〉</p> <p>S：過去にとらわれていた「彼」が、自分の罪に気付いたことで余計に苦しむと考えていたが、友達の「罪に気付いたことで、前向きに考えて生きることでもできるのでは」という意見は自分にはない考えだったので、はっとした。次の時間にミニ論文を書く時は、「救いがある」の立場でしっかり述べていきたい。</p>   | <p>○立場を決めた根拠を明確にするなど、自身の学びの成果を実感できるように、友達との意見の相違に着目している振り返りを紹介し、称賛する。</p> <p>【★一覧表示】</p>  |